



これであなたも安心！！
移乗介助の極意！！

秋も深まり、すっかり日足が短くなりましたが、皆様には変わらずご活躍のことと存じます。

さて今回は、**介助方法**について、特に「**介助方法移乗編**」についてお伝えします。理学療法士が「**移乗動作とは**」、「**環境整備**」、「**介助者の姿勢**」、「**注意点**」をご紹介しますと思います。



1. 移乗動作とは

移乗動作とは…

現在の位置から違う位置へ移る動作、つまり**生活の中で行われる乗り移りの動作**のことを指しています。

例えば…

ベッドから車イスへ、車イスからトイレへなどの行為



日常生活の中で最も行う動作です！！
なので必然的にこの動作を介助することが多くなります！！

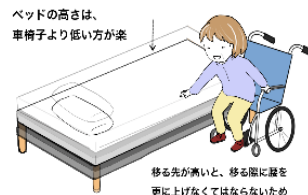


2. 環境整備

●車椅子(椅子)の位置は出来るだけ近づける

ベッド(移乗先)に対して…

- ・車椅子の側面が**15～30°**
(実際はできるだけ移乗先に車椅子の位置を近づける。)
- ・移乗先を**健側側**につける。



●車椅子(椅子)の位置は出来るだけ近づける

車椅子(椅子)からベッドなどへ移乗する際は、**移乗先の座面の方を低く**する。



3. 介助のポイント

①要介助者へ声掛けし協力動作を確保する

②車椅子をベッドに30度くらいの角度でセッティングする

③要介助者をベッド淵に移動し座位を安定させる

④膝折れロックを確実に引き移乗する



rescena

★介助者、要介助者共に怪我や転倒がなく安心して介助を受けられるよう安全を確保し自立につながる介助をすることがポイント！



4. 注意

①ズボンを掴まない

腋窩・臀部を把持する。小柄で肩に痛みがある方は臀部を把持して移乗する。

②移乗のスピードはゆっくりスピードが早いと緊張が入ってしまう為ゆっくり行う。

③勢いよく座らない前かがみを促してゆっくり座る。

もし、担当ご利用者様やそのご家族様などで困りの声がありましたら、是非ご相談下さい！